

「簡易な施工計画」作成の注意点

総務省が進める「新たな自治体情報セキュリティ対策の抜本的強化」により、徳島県電子入札システムでは、平成29年7月1日より一太郎ファイルの取扱いができなくなりました。

このため、総合評価（簡易な施工計画）申請書（様式2）の標準様式をワードファイルに変更しています。

平成29年7月1日以降に簡易な施工計画を「一太郎」で作成して申請する場合は、**PDF形式に変換**して申請してください。

なお、簡易な施工計画をワードファイルで作成した場合も、なるべく**PDF形式にて提出**するようにしてください。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： R2徳耕 ストマネ 喜来 排水樋門改修工事

評価項目	「品質・施工の確認方法、管理方法」の適切性
------	-----------------------

具体的な施工計画

本工事は、吉野川水系1級河川喜来中須入江川の排水樋門改修工事である。基礎工法については、鋼管杭の中掘り杭工法（セメントミルク噴出攪拌方式）を選定している。

中掘り杭工法（セメントミルク噴出攪拌方式）は、施工の良否による支持力への影響が大きい工法であることから、適切な施工と管理が求められる。

また、施設の長寿命化の観点から、コンクリートの打設や養生においては、底版と躯体の打ち継ぎ部や樋門部の施工、打設後のひび割れ抑制に一層の工夫が求められる。

本工事を施工するにあたり、これらのことを踏まえて、次の全て項目について、配慮すべき事項を具体的に記述すること。

① 鋼管杭の中掘り沈設・杭先端根固め時における施工精度確保のための具体的方策と実施方法

② 鋼管杭の継ぎ施工時における品質確保のための具体的方策と実施方法

③ 樋門コンクリートにおける初期ひび割れ抑制のための具体的方策と実施方法

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

商号又は名称：_____

簡 易 な 施 工 計 画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳耕 ストマネ 喜来 排水樋門改修工事

評 価 項 目	「品質・施工の確認方法，管理方法」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>① 鋼管杭の中掘り沈設・杭先端根固め時における施工精度確保のための具体的方策と実施方法</p> <p>② 鋼管杭の継ぎ施工時における品質確保のための具体的方策と実施方法</p> <p>③ 樋門コンクリートにおける初期ひび割れ抑制のための具体的方策と実施方法</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： R2徳耕 ストマネ 喜来 排水樋門改修工事

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
<p>本工事は、吉野川水系 1級河川 喜来中須入江川の排水樋門改修工事である。現場周辺は住宅が多く、工事用道路における一般車両の交通量も多いが、進入路及び施工ヤードが狭隘であることから工事全般に渡り特段の事故防止対策が求められる。</p> <p>加えて、河川内の施工についても、非出水期内の施工となるものの、近年の気象状況は台風の頻発などにより、年間を通して大雨の頻度が多くなっているため、高潮を含む樋門内外の河川水位の急激な上昇に対する準備も必要である。</p> <p>また、建設産業の担い手育成の観点から、この工事の施工においては、県民の建設産業への関心を深めるための取組（例：実際の施工現場を活用した作業体験等）を実施することとしている。そのためには、取組の提案や提案を実施する際の関係機関との事前調整、安全確保等が求められる。</p> <p>本工事を施工するにあたり、これらのことを踏まえて、次の全ての項目について、配慮すべき事項を具体的に記述すること。</p> <p>① 安全な道路通行及び周辺生活環境に与える影響について配慮する事項</p> <p>② 樋門内外の河川水位の急激な上昇への対応について配慮する事項</p> <p>③ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等</p> <p>※③の有効な取組については、その費用を変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）。</p> <p>※③の申請について、受注後、関係機関等との事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。</p>	

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

商号又は名称：_____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名：R2徳耕 ストマネ 喜来 排水樋門改修工事

評価項目	「施工上配慮すべき事項」の適切性
具 体 的 な 施 工 計 画	
① 安全な道路通行及び周辺生活環境に与える影響について配慮する事項	
② 急激な河川水位の上昇に対する対応について配慮する事項	
③ 建設産業への関心を深める取組と実施に当たっての事前調整等	

※③の有効な取組については、その費用を変更契約の対象とする（入札額には含めないこと）。

※③の申請について、受注後、関係機関等との事前調整の結果、実施ができないと判断できる場合は、受注者は「同等又は同等以上」の履行義務を負わない。

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。

<記述上の留意点>

商号又は名称： _____

簡易な施工計画

次の工事について、この申請書の内容と同等又は同等以上の施工を行うことを誓約し、申請します。

工 事 名： **○○ ○○○○○工事** ←※工事名が間違っていないか確認を！

評 価 項 目	「施工上の課題への対応」の的確性
---------	------------------

具 体 的 な 施 工 計 画

○○ということ（工事特性）に鑑み、○○する観点から、次の事項について記述すること。

- ① ○○・・・
- ② △△・・・
- ③ ■■・・・
- ④ ××・・・

※①の項目についての記述に対して、②の項目で評価することはないので、テーマに沿った記述になっているのか、再確認を！

特に具体的な施工計画（「工程管理」の適切性に係る（補足：工程表）を除く。）を記述する枠（以下「記述枠」という。）内の**文字の大きさの規格は10.5ポイント以上**とする。
 なお、「記述枠」の規格値は縦21.0cm、横17.0cm以内とし、55行以内で規格値以内の「記述枠」内にアンダーラインを使用しないで記述することとし、アンダーラインを使用して記述した箇所については、評価の対象としないので注意すること。
 また、執行機関での印刷結果において、以下の項目に一つでも該当する場合は、「記述枠」内の全ての記述を評価の対象外とする。

- ① 文字の大きさが明らかに10.5ポイントを下回る場合
- ② 「記述枠」が縦・横いずれか一方でも規格値から5mmを超えて大きい場合
- ③ 「記述枠」内に56行以上の記述がある場合
- ④ A4版でない場合
- ⑤ 指定の枚数を超えて記述している場合

注1：手書きの場合も同様とする。
 注2：文字のうち、写真・図・表等（以下「図表等」という。）の表題、図表等と一体とみなすことができる名称等、また、英数字・単位・記号・カタカナ等は上記①の対象外とする。
 注3：「記述枠」内に県が記載している文章については、テーマ番号以外は削除しても良いが、記載が残っている場合は、行数に含める。
 注4：空白行は、行数に含めない。
 注5：写真・図は行数に含めないが、表中の行は行数に含める。

<記述枠：縦21cm×横17cm以内に制限>

※A4版1枚（1ページ）に記入し、記述する文字にアンダーラインを使用しないこと。